

# 並木健康くらぶ通信

並木病院 看護部教育委員会 平成30年9月 第13号

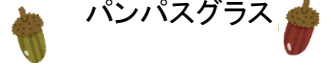


地域医療連携室 神山明美室長・伊藤邦光さんに聞きました  
MSW: 医療社会福祉士

**Q 地域医療連携室は何をしますところですか？**  
並木病院に入院希望のある方の相談にのったり、入院中の方の退院先を探すことや、自宅退院であれば必要な介護用品やサービスなどを用意する相談にのっています。

神山室長

**Q 日頃気付くことは何かありますか？**  
よく「こんな事相談しても良いのでしょうか？」と尋ねられることがあります。何でも構わないので、気軽に相談してください。



伊藤さん

治療が終わると退院という事になりますが、自宅への退院が近づいてくると不安になる方が多くいらっしゃいます。退院するのは嬉しい一方、複雑な気持ちになりますよね。入院中は24時間体制の医療が確保されていますが、退院してからの環境は大きく変わります。「入院する前と同じ生活ができるの?」「具合が悪くなったらどうするの?」等、本当に心配は尽きないと思います。その時に一つでも不安をなくすのが、私たちの大切な仕事です。私たちが居てくれてよかったと思って頂けるような仕事を目指しています。

どうぞよろしくお願いたします。



## アロマセラピー講習会がありました

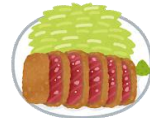
日時: 9月8日(土) 10:00~12:00  
テーマ: 免疫とアロマセラピー  
講師: 西井貴誠医師



毎回好評をいただいています  
アロマスプレーを作成しました

## 並木健康くらぶ講習会 第5回のお知らせ

日時: 10月20日(土) 11:00~11:30  
講師: 高野看護部長  
テーマ: 健康寿命を延ばす食事とは



## アロマセラピー講習会のお知らせ (予約制)

日時: 12月8日(土) 10:00~  
テーマ: 認知症とアロマセラピー  
講師: 西井貴誠医師



並木病院では、看護学生の実習を行っています。学生さん、たくさん学んで体験してってください ♡

左の写真は  
ウエルカムボードです



編集後記 日本人の「平均寿命」は男性80.09歳、女性87.26歳で過去最高を更新したそうです。高齢になると病気にかかりやすくなります。たとえば「認知症」、入院中の患者さんも認知症を併発している方が多くなっています。認知症予防に運動療法や脳トレなどあるようですが、なってしまっても、心穏やかに暮らしていけるような世の中になるといいですね。右の写真は彼岸花(曼珠沙華)です。有毒で、特に鱗茎にアルカロイド、ガランタミンなどの毒を含みます。ガランタミンはアルツハイマー病の治療薬として利用されているそうです。



教育委員: 高野委員長、大山副委員長、今井、高橋(由)、根岸、渡部、橋本、中嶋、八木、白砂